



2023年12月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年5月10日

上場会社名 株式会社 アイフィスジャパン
コード番号 7833 URL <https://www.ifis.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 大澤 弘毅
問合せ先責任者 (役職名) 経営管理グループ マネージャー (氏名) 大下 友淳
四半期報告書提出予定日 2023年5月11日
配当支払開始予定日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
TEL 03-6825-1250

(百万円未満切捨て)

1. 2023年12月期第1四半期の連結業績(2023年1月1日～2023年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第1四半期	1,565	1.7	272	2.0	273	0.3	194	6.4
2022年12月期第1四半期	1,538	2.9	267	28.9	274	27.4	182	15.0

(注) 包括利益 2023年12月期第1四半期 195百万円 (4.6%) 2022年12月期第1四半期 187百万円 (15.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年12月期第1四半期	20.10	
2022年12月期第1四半期	18.89	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年12月期第1四半期	6,027	5,177	85.9	536.02
2022年12月期	5,967	5,160	86.5	534.25

(参考) 自己資本 2023年12月期第1四半期 5,177百万円 2022年12月期 5,160百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年12月期		0.00		18.50	18.50
2023年12月期					
2023年12月期(予想)		0.00		18.50	18.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年12月期の連結業績予想(2023年1月1日～2023年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,800	1.3	330	24.1	330	25.6	213	27.9	22.14
通期	5,600	4.1	670	18.9	670	19.8	434	26.1	44.95

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 有 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年12月期1Q	10,242,000 株	2022年12月期	10,242,000 株
期末自己株式数	2023年12月期1Q	582,305 株	2022年12月期	582,305 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年12月期1Q	9,659,695 株	2022年12月期1Q	9,659,695 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計方針の変更)	7
(セグメント情報等)	7
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症対策の各種行動制限の緩和、訪日外国人観光客の受入の本格的な再開などにより、社会経済活動の正常化が進み、国内経済活動の回復基調が続いております。

一方で、米国をはじめ各国での金利引上げなどにより金融市場の環境は大きく変動していることに加え、物価上昇や円高傾向の継続などが続いており、依然として不透明な状況が続いております。

こうした状況のもと、当社事業と関連性が高い証券市場においては、2022年12月の日銀による金利政策変更の発表等を受け日経平均株価が一時急落する局面もありましたが、2023年3月末には28,000円台まで回復しております。また投資信託市場においては、公募投資信託の純資産額は増加傾向にあり、その本数も2023年3月においては、増加傾向に転じております。

以上の結果、当第1四半期累計期間の売上高は1,565百万円（前年同期比1.7%増）、営業利益は272百万円（前年同期比2.0%増）となりました。また、経常利益は273百万円（前年同期比0.3%減）、親会社株主に帰属する当四半期純利益は194百万円（前年同期比6.4%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は以下のとおりであります。

<投資情報事業>

ネット証券会社に提供している個人投資家向けコンテンツ開発案件は堅調に推移するとともに、連結子会社である株式会社キャピタル・アイが提供する資本市場関係者向けリアルタイムニュース『キャピタルアイ・ニュース』も好調に推移しております。

その結果、売上高は372百万円（前年同期比5.5%増）、営業利益は157百万円（前年同期比5.7%増）となりました。

<ドキュメントソリューション事業>

生命保険関連の印刷・物流サービスの受注が好調に推移し、また、連結子会社である株式会社東京ロジプロの配送サービスについては、昨年から取り組んできたコスト改善に加え、売上も好調に転じ業績に寄与しております。企業向け確定拠出年金関連ソリューションサービスについては、受注案件は堅調なものの開発案件の納品及び検収時期などずれ込みが生じており、前年同期比では減収減益となっております。

その結果、売上高は650百万円（前年同期比2.2%減）、営業利益は122百万円（前年同期比2.2%減）となりました。

<ファンドディスクロージャー事業>

投資信託市場の純資産総額は、株価や為替変動の影響により年初比で増加しておりますが、印刷部数の減少傾向は継続しており、WEB/動画制作、投資信託関連資料類の受発注管理ソリューションの展開も継続しておりますが、印刷受注量の減少分を埋めるには至らず、減収減益となりました。

その結果、売上高は329百万円（前年同期比3.6%減）、営業利益は61百万円（前年同期比17.6%減）となりました。

<ITソリューション事業>

事業会社向けの受託開発を行っているビジネスソリューションの受注が回復していることと、システム開発会社からの業務委託形態での受注増の継続により、増収増益となりました。

その結果、売上高は213百万円（前年同期比18.9%増）、営業利益は28百万円（前年同期比40.4%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ60百万円増加し、6,027百万円となりました。

流動資産合計は59百万円増加し、5,505百万円となりました。主な要因は、受取手形、売掛金及び契約資産が100百万円増加した一方で、現金及び預金が43百万円減少したことによるものであります。

固定資産合計は前連結会計年度末とほぼ同額の522百万円となりました。

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ43百万円増加し、850百万円となりました。

流動負債合計は43百万円増加し、770百万円となりました。主な要因は、買掛金が80百万円増加した一方で、未払法人税等が66百万円減少したことによるものであります。

固定負債合計は前連結会計年度末とほぼ同額の79百万円となりました。

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ17百万円増加し、5,177百万円となりました。主な要因は、親会社株主に帰属する当四半期純利益194百万円の計上による増加と、剰余金の配当178百万円による減少であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年2月10日公表の2023年12月期通期の連結業績予想に変更はありません。今後、状況の進展や事業動向を踏まえ、業績予想の修正が必要となった場合は速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,907,218	4,863,661
受取手形、売掛金及び契約資産	492,068	592,718
その他	45,942	48,841
流動資産合計	5,445,228	5,505,221
固定資産		
有形固定資産	51,143	51,490
無形固定資産		
のれん	130,412	121,718
ソフトウェア	114,613	106,262
ソフトウェア仮勘定	—	4,800
その他	1,469	1,469
無形固定資産合計	246,496	234,250
投資その他の資産	224,739	236,997
固定資産合計	522,379	522,739
資産合計	5,967,608	6,027,960
負債の部		
流動負債		
買掛金	185,839	266,148
未払法人税等	161,056	94,700
賞与引当金	19,358	68,443
その他	360,304	340,936
流動負債合計	726,559	770,228
固定負債		
退職給付に係る負債	25,617	25,205
その他	54,664	54,664
固定負債合計	80,282	79,869
負債合計	806,841	850,098
純資産の部		
株主資本		
資本金	382,510	382,510
資本剰余金	438,310	438,310
利益剰余金	4,399,186	4,414,670
自己株式	△77,975	△77,975
株主資本合計	5,142,031	5,157,514
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△140	△116
為替換算調整勘定	18,875	20,463
その他の包括利益累計額合計	18,735	20,347
純資産合計	5,160,766	5,177,862
負債純資産合計	5,967,608	6,027,960

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)
売上高	1,538,875	1,565,229
売上原価	905,525	899,289
売上総利益	633,350	665,939
販売費及び一般管理費	365,833	393,098
営業利益	267,516	272,841
営業外収益		
受取利息	400	18
受取配当金	194	156
持分法による投資利益	428	313
為替差益	5,598	111
その他	24	22
営業外収益合計	6,646	621
営業外費用		
その他	21	18
営業外費用合計	21	18
経常利益	274,141	273,445
特別損失		
固定資産除却損	—	0
特別損失合計	—	0
税金等調整前四半期純利益	274,141	273,445
法人税、住民税及び事業税	105,323	89,914
法人税等調整額	△13,608	△10,657
法人税等合計	91,714	79,256
四半期純利益	182,426	194,188
親会社株主に帰属する四半期純利益	182,426	194,188

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)
四半期純利益	182,426	194,188
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	137	24
持分法適用会社に対する持分相当額	4,601	1,587
その他の包括利益合計	4,739	1,612
四半期包括利益	187,165	195,800
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	187,165	195,800

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2022年1月1日 至 2022年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 3	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	投資情報 事業	ドキュメン トソリューション 事業	ファンドデ ィスクロー ジャー事業	I T ソリ ュ ーション 事業				
売上高								
ドキュメント	—	599,567	308,246	—	—	907,813	—	907,813
WEBサービス	329,809	—	—	—	—	329,809	—	329,809
受託開発	22,850	65,353	33,600	38,538	—	160,341	—	160,341
その他	—	—	—	140,911	—	140,911	—	140,911
外部顧客への売上高	352,659	664,920	341,846	179,449	—	1,538,875	—	1,538,875
セグメント間の内部 売上高又は振替高	750	1,428	—	27,046	—	29,224	△29,224	—
計	353,409	666,348	341,846	206,495	—	1,568,100	△29,224	1,538,875
セグメント利益	149,043	124,990	74,446	20,069	—	368,549	△101,033	267,516

(注) 1. セグメント利益の調整額△101,033千円には、セグメント間取引消去△219千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△100,814千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、データ化サービス等の事業を含んでおります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自2023年1月1日至2023年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 3	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	投資情報 事業	ドキュメン トソリューション 事業	ファンドデ ィスクロー ジャー事業	I T ソリ ューション 事業				
売上高								
ドキュメント	—	603,631	321,494	—	—	925,125	—	925,125
WEBサービス	343,269	—	—	—	—	343,269	—	343,269
受託開発	28,880	46,666	7,919	38,523	—	121,988	—	121,988
その他	—	—	—	174,845	—	174,845	—	174,845
外部顧客への売上高	372,149	650,297	329,413	213,368	—	1,565,229	—	1,565,229
セグメント間の内部 売上高又は振替高	750	3,120	—	16,452	—	20,322	△20,322	—
計	372,899	653,417	329,413	229,820	—	1,585,552	△20,322	1,565,229
セグメント利益	157,550	122,190	61,328	28,186	—	369,255	△96,413	272,841

(注) 1. セグメント利益の調整額△96,413千円には、セグメント間取引消去△206千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△96,206千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、データ化サービス等の事業を含んでおります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

(本社移転)

当社は、2023年4月10日開催の取締役会において、本社を移転することを決議いたしました。本社移転の概要につきましては以下のとおりです。

1. 新本社所在地

東京都港区六本木一丁目8番7号 MFPR六本木麻布台ビル9階

2. 移転時期

2023年9月(予定)

3. 移転目的

現在入居中のビルが竣工後相応の年数が経過していること、フリーアドレス化やテレワーク推進に伴いオフィススペースの効率化が見込めると判断したため、本社移転を決定いたしました。当社はこれまで会社の規模と比例してオフィスを拡張してまいりましたが、コロナ禍を経て、リモートワークとオフィス出社のハイブリッド型での柔軟な働き方の実現を目指し、フリーアドレス化などを取り入れることで本社オフィスの賃貸面積の効率化を推進いたします。WEB会議、フレックス制度なども導入しておりますが、今回の本社移転を機に、快適な職場環境の構築、より一層の業務の効率化を図り、今後の持続的な企業価値の向上に結びつけてまいります。

4. 業績に与える影響

本社移転が当社の業績に与える影響につきましては、現在精査中です。開示すべき事項が生じた場合は、速やかに開示いたします。

5. その他

登記上の本社所在地については、臨時株主総会を開催し、本社所在地の変更に関する定款一部変更の議案を付議する予定であり、当該議案が承認されることを条件として、現在の東京都千代田区から東京都港区へ変更する予定です。